

## 令和4年度第3回千葉市学校教育審議会議事録

### 1 日時：

令和5年3月22日（水） 18時00分～19時30分

### 2 場所：

千葉市役所新庁舎2階 XL会議室201・202

### 3 出席者：

#### (1) 委員（13名）

貞広齋子委員（会長）、奥山慎一委員（副会長）、  
青木志乃委員、阿部学委員、江藤悦子委員、江波戸正子委員、  
神尾祝子委員、黒川雅子委員、小池公夫委員、笹口芳則委員、  
篠田ますみ委員、原田恵理子委員、保坂亨委員

#### (2) 事務局

磯野教育長、宮本教育次長、香取教育総務部長、鶴岡学校教育部長  
伊藤学校教育部参事教育改革推進課長、望月企画課長、小田教育支援課長  
内海生涯学習振興課長、半沢企画課長補佐

### 4 議題：

- (1) 令和5年度の主な教育施策について
- (2) 第3次千葉市学校教育推進計画について
- (3) 第6次千葉市生涯学習推進計画について
- (4) 第2次千葉市特別支援教育推進基本計画について

## 5 会議経過：

○半沢企画課長補佐 定刻となりましたので、ただいまから令和4年度第3回千葉市学校教育審議会を開会いたします。

委員の皆様方におかれましては、お忙しい中、また遅い時間にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます教育委員会事務局企画課課長補佐の半沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

豊田委員におかれましては、ご都合により、本日欠席とのご連絡をいただいております。

本日の会議でございますが、15人の委員のうち半数以上の方が出席されておりますので、千葉市学校教育審議会設置条例第6条第2項により会議は成立しておりますことを報告いたします。

本日の資料につきましては、お手元にお配りした配付資料一覧のとおりとなっておりますので、ご確認ください。

資料に不足等はございませんでしょうか。

お気づきの点などがありましたら、事務局にお申しつけください。

続きまして、会議の公開等についてご説明させていただきます。

本会議は、千葉市情報公開条例により公開することとなっております。

また、本会議の議事録につきましては、委員の皆様にご確認をいただき、その後、会長の承認をもって本審議会の承認となりますので、よろしくお願いいたします。議事録確定後は、市のホームページにて公開いたしますので、ご承知おきください。

ここで、傍聴の皆様申し上げます。

傍聴に当たっては、お手元の「傍聴要領」の2に記載しました注意事項を遵守していただきますようお願いいたします。

注意事項に違反した場合、退場していただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

それでは、開会に当たりまして、教育長の磯野よりご挨拶を申し上げます。

○磯野教育長 教育長の磯野でございます。

日頃より、本市の教育行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中学校教育審議会にご出席いただきありがとうございます。

さて、このたび、教育委員会事務局は、市役所新庁舎の改築に伴い、2月下旬から3月上旬にかけて移転いたしました。全ての移転はまだ終わっておりませんが、これまで現庁舎と中央コミュニティセンター、千葉ポートサイドタワーに分散していた機能が新庁舎に集約されます。

そして、今回の新庁舎のスローガンが「対話と挑戦」ということで、グループアドレスになりましたので、色々な面で席を自由に変えて、毎日パソコ

ンを片づけているわけですがけれども、その中で色々な発想を持って新しい事業に取り組んでほしいという市長の意向に沿って、取り組んでいるところがあります。

教育委員会も、先般、そういう中で座席表というものがなく、電話もどこへかけていいのかわからなくて、端から端まで150メートルもあるので、電話をかけるよりも歩いたほうが早いと思って、直接行って、そこで声をかけて担当を探しているという状況です。昔のように課も順番に並んでいないものですから、なかなか分かりづらい状況となっております。また、外から来る方にとっては非常にセキュリティーが厳しくてなかなか中に入ってこれないということで、受付のA、Bのどちらかで電話をして担当を呼ぶという状況ですので、市役所というよりはオフィスというような感じで取り組んでおり、ようやく慣れてきたところではあります。

学校現場も、3月13日の文書をもって国の感染症も含めていろいろ変わり、おかげさまでこれまでも感染対策を講じながら教育活動を進めてまいりましたけれども、おかげさまで小中学校とも卒業式が無事に終わりました。これまではマスクをしない卒業式というのが本当に当たり前だったのですが、非常に新鮮で、先生方も生徒も、そして保護者も、保護者についてはマスクをして参加していただきましたけれども、本当に感動の卒業式ができたということ、子どもたちがやはり一番喜んでいましたし、何よりも保護者がそういった中で感動を初めて味わえたということで、私どもも大変うれしく思っているところであります。

今回は、前回答申をいただきました第3次の学校教育推進計画、そして第6次の生涯学習推進計画、そして第2次の千葉県特別支援教育の基本計画について、これからご報告させていただきます。

今回が最後の会議になりますので、委員の皆様のご忌憚のないご意見をいただければと思います。ひとつよろしくお願ひいたします。

○半沢企画課長補佐　それでは、これからの議事進行につきましては、貞広会長にお願いしたいと存じます。

貞広会長、どうぞよろしくお願ひいたします。

○貞広会長　皆様、改めましてこんばんは。貞広です。本日はよろしくお願ひいたします。着座にて失礼いたします。

改めまして、今、磯野教育長からのお話もありましたけれども、お忙しいところ、そして家でゆっくりと録画をご覧になりたいというお気持ちを皆さんお持ちのところ、それを曲げていらしていただきまして、本当にありがとうございます。

それでは、早速でございますけれども、議事に入らせていただきます。

本日、4つ報告がございます。

「令和5年度の主な教育施策について」、「第3次千葉県学校教育推進計画について」、「第6次千葉県生涯学習推進計画について」、そして「第2

次千葉県特別支援教育推進基本計画について」、以上4つの報告でございます。

1つ目の報告について、おおむね10分程度、残りの3つの報告については、それぞれ15分程度時間を取りまして進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、初めに報告1「令和5年度の主な教育施策について」、まずは事務局よりご説明お願いいたします。

○香取教育総務部長 教育総務部長の香取と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

説明は座ってさせていただきます。失礼いたします。

お手元にお配りしてございます資料1、「令和5年度の主な教育施策について」をご覧くださいと思います。

こちらは、令和5年度当初予算案のあらましから教育委員会の主要事務事業につきまして発出したものとなっております。

新規事業を中心にご説明させていただきます。

まず、教育総務部についてです。114ページをご覧くださいと思います。

初めに、公立夜間中学校の設置ですが、様々な事情によりまして十分な教育を受けられなかった方の学び直しを支援するため、令和5年4月に真砂中学校かがやき分校を開校いたします。

次に、児童生徒性暴力等防止対策検討委員会の設置等でございますが、学校における教職員によります性暴力などを根絶するため、実効性のある対策について調査審議などを行います、児童生徒性暴力等検討委員会などを設置するものでございます。

115ページをご覧くださいと思います。

115ページの一番下段でございます。給食室・体育館等空調設備整備ですが、給食従事職員の熱中症対策としまして、小学校の給食室に冷暖房設備を整備し、適正な作業環境を整えるため実施設計を行うものでございます。

また、教育環境の整備ですとか防災機能の強化のため、体育館空調設備整備に係ります調査のほか、既存空調設備の更新を行うものでございます。

続きまして、116ページをご覧くださいと思います。

学校教育部になります。

初めに、稲毛国際中等教育学校英語教育支援ですが、稲毛国際中等教育学校の英語教育強化のためオンライン英会話を導入するほか、ネイティブ講師の追加雇用による支援を行います。

次に、不登校対策についてです。ステップルームティーチャー活用ですが、教室に入れず、別室に登校します児童生徒への継続的な学習支援などを行うため、新たに専任の支援員を配置するものでございます。

スクールカウンセラー活用とライトポート機能の拡充ですが、いじめや不

登校などの悩みを解消するため、小学校大規模校へのスクールカウンセラーの配置時間を拡充します。また、スクールカウンセラーを1人増員するとともに、小学生への支援を専門的に行う指導員を6人増員いたします。

教育センター相談機能の拡充ですが、家庭訪問カウンセラーを2人増員するとともに、資格を持ちました来所相談カウンセラーを新たに配置いたします。

資料117ページをお願いいたします。

上から2つ目になります。小学校の水泳学習における民間スイミングスクール活用ですが、児童の泳力向上、教員の負担軽減及び学校プール施設の維持管理費削減などを目的としまして、民間スイミングスクールで水泳学習を実施する対象校を2校増やし11校で実施するとともに、インストラクターを学校に派遣しまして行います水泳学習を2校で実施いたします。

最後に、生涯学習部になります。

118ページをご覧いただきたいと思います。

初めに、放課後子ども対策についてです。

アフタースクールですが、小学生に対しまして、放課後を安全・安心に過ごせる居場所と多様な体験や活動の機会を提供するため、実施校を24校から34校に拡大するとともに、令和6年度実施校の10校拡大に向けた開設準備を行います。

放課後子ども教室運営の民間委託ですが、アフタースクール導入が当面困難な学校におきまして新たに放課後子ども教室の運営を民間委託し、多様な体験や活動の機会を確保いたします。令和5年度は、1校でモデル事業として実施いたします。

アフタースクールのWi-Fi環境整備ですが、小学校におけるギガタブを活用しました宿題や自主学習に対応するため、Wi-Fi機能を整備してまいります。

続いて、120ページをご覧いただきたいと思います。

博物館管理運営についてです。

加曽利貝塚博物館及び郷土博物館において加曽利貝塚や本市の歴史民俗に関する調査研究を進めるとともに、展示、教育普及活動などを行います。特に千葉氏に関する研究を深めるため、資料の調査や発掘調査を実施するとともに、千葉開府900年に向けまして郷土博物館の展示リニューアル設計を実施いたします。

最後に、図書館管理運営ですが、市民や企業などからの高度な情報ニーズに対応するため、新たに中央図書館において法律や経済情報などのオンラインデータベースを導入しまして、レファレンス機能を充実してまいります。

以上、あらましによりまして、簡単ではございますが、主な教育施策についての説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○貞広会長 ありがとうございます。

では、ただいまご説明いただいたことにつきましてご質問やご意見等がありましたらお申出いただければと思います。こちらから見えるように名札を立てていただければと存じますが、いかがでしょうか。

資料も大部ですので眺めていただいて。いかがですか、よろしいでしょうか。

では、ご質問ありませんでしたので、また後ほどお気づきになりましたら、お申出いただければと思います。

では、1、「令和5年度の主な教育施策について」は、こちらで一旦終了とさせていただきます。

では、続きまして報告2、「第3次千葉市学校教育推進計画について」、こちらについても、まず事務局よりご説明をお願いいたします。

○伊藤学校教育部参事教育改革推進課長 教育改革推進課でございます。

お手元の資料2-1から2-4よりご説明をさせていただきます。

「第3次千葉市学校教育推進計画について」でございますけれども、こちらについては3月15日水曜日の教育委員会会議で策定をされましたので、ご報告させていただきます。

まずは、パブリックコメントの結果でございます。

資料の2-1をご覧ください。

資料2-1、1、募集期間、2、募集結果についてはご覧のとおりでございます。

3の項目別意見のうち、はじめにから第1章、第3次学校教育推進計画までは合計21項目のご意見を頂戴いたしましたので、そのうちの主な意見について、今回ご説明をさせていただきます。

資料の2-2と資料2-4の計画書を併せてご覧いただければと思います。

資料の2-2は横長の表でございます、表題が「第3次千葉市学校教育推進計画（案）」と「第6次千葉市生涯学習推進計画（案）」に対する意見の概要と市の考え方、資料2-4は、計画書本体でございます。

まず、主な意見の1つ目としまして、資料2-2のNo. 2、計画書本体は2ページをご覧ください。

資料2-2、No. 2、ご意見としましては、1ページ、または1項目の中で2以上の異なる元号を使用する場合は、元号（和暦）と西暦を併記すると経年が簡単に計算できるとのご意見をいただきました。

これについては、ご意見を踏まえまして、計画書の2ページにおいて西暦を併記いたしました。また、同じく計画書本体の38ページや138ページの各論の見方において、和暦と西暦の対応表を追加しております。

2つ目のご意見として、資料2-2のNo. 4をご覧ください。計画書は8ページをご覧ください。

ご意見といたしまして、個別の成果指標に対するコメントがNo. 18、No. 8、No. 6などと順不同で掲載されている。そして「一方、各成果

指標、個別に見ていくと」としか記載されておらず、なぜ順不同なのかの理由の説明が必要というご意見をいただきました。

これについては、第2次千葉市学校教育推進計画の成果指標No. を記載しておりまして、順番は第3次千葉市学校教育推進計画の施策方針の順番に沿って並べておりますので、現状のままとしております。

続きまして、資料2-2の2ページになります。2ページのNo. 7をご覧ください。計画書は9ページをご覧くださいただければと思います。

ご意見としまして、体力や運動習慣、朝食喫食率など、No. 11からNo. 14において健やかな体の育成に関する指標については、全国平均や県平均と比較して総じて良好な状況ですと記載されている。計画書本体16ページのNo. 13の表を見ると、令和3年度末の実績が目標を上回っているのは中学校女子だけで、特に小学校男子は低い値だ。全国平均や県平均よりも高い値だが、目標を忘れてはいけないというご意見をいただきました。

児童生徒の体力、運動能力につきましては、全国平均や県平均を上回る項目が多くありましたが、コロナ禍以前に設定した目標値との比較では下回る項目もございました。第3次千葉市学校教育推進計画においても、引き続き目標の達成を目指した取組を進めてまいります。

続きまして、資料2-2、今度はNo. 13をご覧くださいただければと思います。計画書本体は36ページをご覧ください。

ご意見としましては、計画書本体36ページのリーフレット、またはチラシは何に使用するのか位置づけを教えてください。計画のキャッチフレーズまで掲載されている。第2次から第3次への移行によって修正された目指すべき子どもの姿の「チャレンジ」が残っている。また、計画書本体32ページの各施策の留意事項である「人間尊重」は大きく書かれているが、その他の「人権尊重」などはないというご意見をいただきました。

計画書本体の36ページの図につきましては、市民や学校現場への周知に活用予定でございます。また、本市の教育施策は「人間尊重の教育」を基調としておりますため、中心に記載をしております。そのほかの重要となる考え方にも、計画書本体の32ページや33ページのとおり、留意して事業運営を進めてまいります。

最後に、資料2-2の3ページ、No. 17をご覧くださいただければと思います。

No. 17のご意見でございますけれども、ハンディキャップのある子どもも普通学級で共に学べるように多機能トイレ、エレベーター、スロープなどの設備を設置してほしいというご意見をいただきました。

これにつきましては、計画書本体86ページ、施策方針5-4、アクションプランNo. 63に記載してございます。

以上、簡単ではございますけれども、パブリックコメントでいただきました主なご意見への対応でございます。

これらのご意見を反映させまして、第3次千葉市学校教育推進計画を先般の教育委員会会議で策定をさせていただきました。

なお、今後の予定としましては、令和5年3月31日金曜日に市のホームページに掲載するとともに、市内施設、具体的には各担当課、市政情報室、区役所、市図書館などでございますけれども、こうした市内施設での閲覧が可能となります。

そのほか周知の方法としましては、教育だよりちば4月号へ掲載するとともに、学校現場の教職員へは、校長会はじめ各種研修会で説明することを予定してございます。

審議会委員の皆様には、令和3年度から2か年にわたりましてご審議をいただきまして、心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

「第3次千葉市学校教育推進計画について」の説明は以上でございます。

○貞広会長 ありがとうございます。

主にパブリックコメントの内容とその対応についてご説明をいただきましたけれども、こちらにつきましてご質問、ご意見等がありましたら、お知らせいただければと存じます。いかがでしょうか。

こちらも少し時間を取ります。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

もう我々、何度も拝見していますので、ちょっと俯瞰的、客観的に見られないという感じもありますけれども、よろしいですか。

では、どうぞ。原田委員、お願いいたします。

○原田委員 原田です。

パブリックコメントに対して丁寧に回答していただいている印象を持っております。

その上でですが、送っていただいたPDFを拝見している中で、1点気になりました。ページでいうと36ページになります。

「自ら考え」という教育目標とⅠとⅡといった小見出しの部分ですけれども、色が赤であるため、カラーユニバーサルデザインを意識されてはどうかと思いました。配色、また色の区別がしにくい方を想定し、学校現場以外の市民の皆様への周知に活用されるということなので、色が赤であれば、ご確認いただけたらと思います。

以上です。

○貞広会長 すごく大事な点をご指摘いただいたかと思います。

現時点でご回答できることがありましたらお願いできますでしょうか、ご担当課の方。

お願いいたします。

○伊藤学校教育部参事教育改革推進課長 教育改革推進課でございます。ご指摘をありがとうございます。

今、すみません、白黒のものでございますので、改めてちょっと確認をさ

せていただきまして、ちょっと対応を検討させていただきたいと思います。

ご指摘ありがとうございます。

○貞広会長      ありがとうございます。

実際にどの色であるかということよりも、これ自体をユニバーサルデザインのフライヤーにしてくださいということだと思imasるので、よろしく願ひいたします。

ほか、いかがでしょうか。

阿部委員、どうぞ。

○阿部委員      阿部です。

ちょっと関連するところなのですが、36ページの図に対して、コメントの13番でちょっと違和感があるというようなコメントをもらっているという指摘があったということだと思imas。

真ん中に「人間尊重」というものが大きく書かれていて、ほかがないというコメントをもらっているということだと思imas。確かに32ページを見ると、(1)に「人間尊重の教育」を基調とするというふうに書かれていたのですが、とはいえ、(1)、(2)、(3)と同じような分け方がなされているということがあって、それ自体が悪いということではないですけども、分かりやすく伝えるために図を使っているのに、丁寧に見ると、あれ、おかしいなというふうな印象を与えてしまうという、狙いからするとちょっともったいないなというところがあるかなと思imas。せっかく立てた計画とか施策みたいなものを、これから伝えて実行していくという段階になっていくと思imasので、分かりやすく伝える方法みたいなものは考えていけるといいのかなということを思imas。ちょっと感想のようなものになってしまいましたけれども、以上です。

○貞広会長      ご本人、ご感想とおっしゃっていますけれども、恐らくこれだけが出てくるのですよね、いろんなところに。図だけを見るというふうになっていくかと思imasので、今、何か直接コメントがあればと思imasけれども、むしろこれを引き取っていただいてということでしょうか。

ちょっと慎重にもう一度精査してくださいというふうなご意見と、実際に周知するときの工夫をよりしてくださいというご意見かと思imasので、よろしく願ひいたします。

ほか、いかがでしょうか。

○小池委員      よろしいでしょうか。

大変よくまとまった計画だと思imasっていて、国のほうで改めて第4期の教育振興基本計画が示された中で、千葉市はこれで進めていくわけですが、新たな課題になりそうなこととか、何か今後検討していかなきゃいけないようなこととか、そういうものが出てきているというふうなことはあるのでしょうか。

○貞広会長      ご担当課の方、いかがですか。

○伊藤学校教育部参事教育改革推進課 教育改革推進課でございます。

国の第4期教育振興基本計画では、ウェルビーイングとか事柄も出されてはおりますけれども、まずは千葉市の学校教育推進計画、今回策定をされましたので、まずはこれを着実に進めながら、国の第4期教育振興基本計画の進み具合を見ながら、各種の事業面については柔軟に対応してまいりたいと思います。

ご指摘いただいたことも踏まえまして、そういった柔軟な対応を進めてまいりたいと考えております。

○貞広会長 ありがとうございます。ぜひそのようにしていただければと思います。

ちょっと会長が横入りするのも何ですが、今おっしゃったウェルビーイングとD I & Eというのですか、片仮名ばかりでどうなのかというのはあるのですが、Diversity, Inclusion & Equality でしたか、このあたりのフィロソフィーは恐らく、私も片仮名使っていますね、このあたりの考え方というのは、恐らく今回のこの推進計画にも十分反映をされているところだと思いますので、軸をぶらさずにしっかり落としていただくというのが、まさに今、小池委員がおっしゃってくださったご意見の実現かと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがですか。よろしいでしょうか。

何か、今日、日本国民みんなご機嫌がいいので、よきにはからえ、みたいな感じのくらいになっていますかね。すみません。

では、報告2については、ひとまずこちらで終了をさせていただきます。

では、続きまして報告3でございます。「第6次千葉市生涯学習推進計画について」、こちらもまず事務局よりご説明お願いいたします。

○内海生涯学習振興課長 生涯学習振興課でございます。

資料はNo. 5の資料の2-1からNo. 8の資料の2-4までとなりますが、説明につきましては、資料2-3、A3の概要版にて説明をさせていただきます。

概要版の4ページになります。

第2章、「第6次千葉市生涯学習推進計画」総論でございます。

まず、第6次の学習推進計画の作成に当たりまして、2番の現状と課題の把握に努めました。

(1) 生涯学習につきましては、多くの方が関心を持っていることから、様々な媒体を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりに努める必要があると考えております。

(2) でございますが、学習環境の整備につきましては、施設の整備などを図り、利用しやすい学習環境づくりに努める必要があるため、公民館47館全て、どの諸室でもWi-Fiがつながるように整備しております。また、公民館47館ですが、約4割が築40年を経過しておりますので、やはり時

代に合わせた形で改修をしていく必要があると考えております。

(3)でございます。学習機会の提供についてですが、公民館の主催講座は98%という高い満足度を示しておりますので、引き続きニーズを踏まえた上で、講座内容、実施回数のさらなる充実を図りまして、満足度の向上を維持、図る必要があると考えております。

続きまして、(4)でございます。地域の担い手となる人材育成や学習生活の活用機会の提供につきまして、やはり講座の充実や学んだ方たちが活動するための周知を行う必要があるとともに、地域の方がどういったことを望んでいるのか把握し、地域の担い手とのマッチングをする必要があると考えております。

続きまして、3番、市民の意識についてでございます。

(1)生涯学習活動を個人の成長と捉える市民が多い傾向となっております。ご自身の生きがいづくりや、人生を豊かにするいわゆる趣味やお稽古に活用されている方がほとんどだということが分かりました。確かに文化、娯楽、レクリエーションを中心に、人と人とのコミュニケーションを取りながら、地域住民との仲間づくりを育んできた、それはとてもよいことですが、やはりこれからは地域文化の創造と学びを共有する場としての機能を充実させる必要があると考えております。

(2)でございますが、生涯学習に関する情報入手のツールとして、インターネットをあげる方が多くなっています。また、誰でも気軽に参加できる行事やイベントのニーズがあります。今、正直に申し上げますと、言葉は悪いかもしれませんが、公民館は高齢者の趣味、教養のためのたまり場というイメージがございますので、公民館を誰もが気軽に参加できるよう変えていく必要があると考えております。

(3)でございますが、市の歴史や文化財をはじめ、自分たちの住んでいる地域の様々について愛着を持っている方がおりますので、そういったものに応える講座等を皆様に提供したいと考えております。

(4)でございますが、(1)、先ほど生涯学習は個人の成長と捉える市民が多い傾向とお話しさせていただきましたように、学習成果が地域に十分に還元されているとは言えない結果となっております。やはり生涯学習は、これからは地域住民の方同士が協力して、地域の課題を学びながら解決に取り組んでいく必要があると考えております。

続きまして、4番、計画の策定についてでございます。

(1)第5次の計画の課題への対応でございます。本市の生涯学習が目指すべきものを見据えた成果指標を設定しまして、その実現のための計画とするとともに、生涯学習の理念の周知に力を入れます。また、生涯学習に関する情報提供、学習環境、多様な学習機会の充実、地域人材の発掘、育成に力を入れてまいります。

(2)でございますが、今度は第5次計画の継承でございます。ただ継承

するだけではなく、3行目の「また、」以降になりますが、急速に変化する社会において新しい時代の課題に対応するため新たな視点を取り入れるとともに、市民の学びを支え、その成果を適切に生かせる環境づくりを目指してまいります。

では、2番ですが、第6次計画の新たな視点とは何ぞやという部分でございます。（1）は、引き続きデジタルデバイドの解消でございます。

（2）でございますが、地域課題に向けて共に学び合ったりする機会の充実を図ります。

（3）は、持続可能な開発目標SDGsの目標達成に貢献いたします。

そして、今後の計画で一番力を入れたいと考えておりますのが（4）でございます。公民館が身近な地域活動拠点となるため、社会教育主事有資格者のさらなる活用や社会教育士との連携の強化を図ることにより、各地域における課題の解決に向けた講座の拡充を通してその成果が地域に還元され、循環させるサイクルの構築を進め、公民館の機能強化を図りますということがございます。

やはり公民館は千葉市内に47館ございまして、どの公共施設よりも地域に身近な活動拠点でございます。地域の方は、いろいろ悩み事や相談等もございまして、公民館は基本的に学びの施設ということでございまして、公民館で地域にどういった課題があるかという部分をキャッチし、その解決のための講座を実施すると。学んだ方は、地元に戻って、同じような悩みを持っている方がいたら、互いに共有し、解消していく、そういったことを考えております。

3番でございますが、これから進める第6次計画において留意すべき事項でございます。

（1）といたしまして、目指すべき姿の達成状況を適切に把握・評価できる成果指標を検討します。

（2）として、学び始めから学習活動を経て、学習成果の活用によるコミュニティづくりが実現できる環境づくりを継承します。

（4）でございますが、大人だけでなく、子どもや若者が地域の課題解決に主体的に関わるようにするようになりたいとも考えております。

（5）でございますが、学びの活動と地域をつなぐコーディネートをする人材が重要と考えております。

そして（7）、オンラインだけでなく、対面による学びの組合せで学びがさらに豊かなものになりますということでございます。今年度、生涯学習センターはオンライン講座等々を実施したことによりまして、文部科学省の優良公民館という表彰をいただいております。ただ、やはり人恋しいという部分がございますので、オンラインだけでなく、対面による学びというのは引き続き強化していくことが必要と考えております。

続きまして、5番ですが、第6次計画の全体像でございます。

生涯学習の目指すべき目標・施策展開の方向性を定めた基本計画部分と、それを実現するための基本施策・具体的な事業を定めた実施計画部分の2つの要素を持った計画といたします。目標、3つの施策展開の方向性、7つの基本施策は右側に記載してございます。

まず、目指すべき姿、一番上でございますが、「一人ひとりが 学びを通して成長し みんなが輝くまち 千葉市」。

計画目標といたしまして、新しい時代の市民の学びを支え、生活や地域・社会に生かし、多様な主体と連携・協働を図り持続可能な社会を形成できる環境をつくる。

やはり行政だけではとても対応することができませんので、地域の方たち、NPO法人等の多様な団体や、千葉市の他局との連携を図りながら進めていきたいと考えております。

そして、真ん中に図を用意してございます。

まず、①でございます。施策展開の方向性のまず1つ目、方向性1、学習活動のきっかけと場の提供。まず、スタートラインに着いていただくことが大事でございますので、そのお手伝いをさせていただきます。

基本施策としては、1-1、生涯学習の普及啓発でございます。まず、興味、関心を持ってもらうことで情報更新の強化を図ります。

1-2、学習環境の整備でございます。Wi-Fi整備、また老朽化対応について、先ほどお話しさせていただきましたが、やはりあらゆる世代の方が利用しやすい環境づくりに努めたいと考えております。

そして、生涯学習の意義に気づいていただきまして、続きまして②に上がっていきます。地域の課題を発見し、解決する力を身につけていただきます。

方向性2としては、多様な学習機会の充実でございます。多種多様な学びの機会を確保し、市民の学習活動を支援いたします。

基本施策としては3つございまして、まず2-1は、郷土や地域への愛着を深める学習機会の提供。例えば千葉氏開府900年に向けた郷土博物館の充実や、知のアーカイブ化を進めてまいります。

2-2でございます。市民ニーズに対応した学習機会の提供。電子書籍のサービスの充実などを図ってまいります。

2-3でございます。現代的課題に対応する学習機会の提供。生命や暮らしを守る学習や、先ほども説明させていただきましたデジタルデバイドの解消、子どもたちの放課後対策、また少子高齢化がございまして、小さいお子様を持ったご両親がなかなか不安を解消できずいらっしゃいます。その方たちのために子育ておしゃべりタイムを公民館で可能な限り実施しております。そこで少しでも不安の解消を図っていただこうと考えております。

続きまして、まず学習機会が充実したならば、続きまして右側の③にいきます。市民が自ら学んだ成果を地域・社会に還元します。個人でとどめることなく、同じ悩み等がございましたら、そういったものを地域に還元してい

くというものがございます。

方向性3では、学習を生かした活力あるコミュニティづくり。学びによって得た知識や経験が社会に還元され、持続可能で活力あるコミュニティの形成を目指します。

基本施策としては2つございます。地域の担い手となる人材の発掘・育成。もう一つが、市民の参加・協働による学習成果の活用でございます。やはり学んだ方が地域にそれを提供していく、自分が学んだものを提供していくという考え方と、あと地域でこういった問題があると、こういった問題を解決するための講師をご紹介いただきたい。そのマッチングを行う必要があると考えております。

そして、この学びと活動の循環サイクルを通して、社会が人を育み、人が社会をつくるという好循環を目指すものでございます。

説明は簡単でございますが、以上でございます。

○貞広会長 どうもありがとうございます。

ただいまのご説明等につきまして質問、ご意見がありましたら、名札をこちらから見えるように立てていただければと思います。

いかがでしょうか。

では、小池委員、お願いいたします。

○小池委員 感想ですけれども、課長さんの説明を伺って、非常に何か熱い思いというか、市民のためにという気持ちがすごく出ているので、この文面からだけで分からない内容を感じ取ることができました。

とかく自助、共助、公助とあって、自助を協調するような風潮がありますけれども、その中で公の立場でこういうことに力を入れていただいているということに非常に感謝したいと思います。ありがとうございます。

○貞広会長 ありがとうございます。

本当に、ぜひこういう熱意が市民の方にも伝わればいいんですけれども、なかなか答申文の限界なのではないでしょうか、行間を伝えていけることということにもご配慮いただければと思います。

ほかにいかがでしょうか。

黒川委員、お願いいたします。

○黒川委員 ご説明ありがとうございます。

質問ではなく、1点お願いがございます。淑徳大学の千葉キャンパスの近くに南部青少年センターがございまして、その学習環境の整備について、課長からもW i - F i の整備の努力といったことが申し添えられておりました。蘇我中学校の生徒をはじめ、タブレットを持って南部青少年センターを利用している利用者の様子を私も見ておりますので、どうぞ公民館のみならず、含めてお考えいただければと思います。

以上です。

○貞広会長 社会教育施設全般ということでしょうか。

何か今の時点でお答えありますか。

- 内海生涯学習振興課長 先日、南部青少年センターで協議会がございました、同じようにご指摘をいただいております。

確かに南部青少年センター、W i - F i を整備しておりません。1つは、W i - F i を整備すると、子どもたちがスマホで学習ではなく違うことをやられている方が多くなるのではと、懸念していることをお聞きしましたので、そこを踏まえまして考えさせていただきたいと思います。

- 貞広会長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告3については、ひとまずこちらで切らせていただきます。

続きまして、最後のご報告になります。

報告4、「第2次千葉市特別支援教育推進基本計画について」、こちらも事務局よりご説明お願いいたします。

- 小田教育支援課長 それでは、着座にて失礼をさせていただきます。

「第2次千葉市特別支援教育推進基本計画について」、教育支援課よりご説明させていただきます。

本計画は、前回の本審議会でのご意見やパブリックコメントでのご意見を反映させた上で、先般、教育委員会会議で議決を得ているものではございません。

本日は、特に主たる反映点についてご報告をさせていただければと、このように思います。

それでは、資料の3-4、「第2次千葉市特別支援教育推進基本計画」の本体のほうをご用意いただければと思います。

まず、前回の本審議会のご意見を踏まえて、3点反映をさせていただいております。

1点目は、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査にて、小中学校に8.8%、そういった生徒がいると、または児童がいるという調査結果から、通常学級における今後の方針や取組の検討が必要ではないかというご意見を踏まえ、本体15ページになりますが、今後の方針のところ、学級担任をはじめとする云々というところから、こういった意識と質の向上を図るといふところの文言を追記させていただいております。

また、併せて具体的な取組のところにも、白丸の3点目になりますけれども、校内における教職員の特別支援教育に関する意識と資質を高めるシステムづくりを追記し、特別支援教育に関するP D C Aサイクルや効果的な校内支援体制の構築に取り組んでまいりたいと考えております。

2点目でございます。

就労に関して、企業との関わりを追加してはどうかというご意見を踏まえ、やはり23ページ、3番の具体的な取組の白丸の2点目に、企業との連携と

いうところを新たに追記させていただいているところがございます。

3点目でございます。

用語解説に掲載した用語の整合性を図ったほうがよいのではないかというご意見を踏まえ、再度掲載用語について検討をしまして、関連のある用語を追記させていただきました。また、本冊子で用語解説にて扱っている用語の右肩に分かりやすく印を付記し、見やすいような形とさせていただいております。

そのほかのご意見につきましては、今後の特別支援教育に関する事業の推進及び本計画の学校現場への浸透や周知等に生かしてまいりたいと、このように考えております。

次に、パブリックコメント手続の実施計画について、反映点を中心にご説明させていただきます。

資料の3-1をご用意いただければと思います。

本年2月3日から3月2日までの間にパブリックコメントを実施しまして、5人の方から、種別にしまして24件のご意見を頂戴いたしました。その一覧につきましては、資料の3-2をご覧いただければ分かりやすいかと思っております。

こちらの表の一番右枠に丸印がついているところをご意見として反映させていただいて修正等を行っているところがございますが、この中でも、特に2つの点についてご報告させていただきます。

No. 9になります。エリア方式のイメージ図がちょっと分かりにくいというご意見を踏まえまして、実は概要版で用意した図のほうがより見やすいという判断をさせていただきまして、資料3-3のほうに使用しているこちらの図に差し替えさせていただきました。

あわせて、コーディネーターが特別支援エリアコーディネーターと地域支援コーディネーターと、コーディネーターという名称の方々の名称が2つ出てきますので分かりづらいということから、新たにこのコーディネーターについては用語解説のところに追記をさせていただいて、そちらのほうでも整理しやすいようにさせていただいたところです。

2点目です。

2点目はNo. 14になります。通級指導教室の中で、言語障害や難聴通級指導教室、こちらの説明の中に、早期発見・早期支援、また切れ目のない指導、支援・配慮のため、幼稚園、保育所、小学校、中学校間で連携を図ります。こういった記載を、言語、難聴通級だけではなくて、ほかにも関わってくるのではないかというご意見を踏まえまして、特別支援学級全体と、それからLD等通級にもこちらの記載を入れて、全てに関わるように文言修正、追記をさせていただいたところがございます。

以上、主なものとして2点ご説明させていただきましたが、そのほかにつきましては表のほうでご確認いただければと、このように思っております。

なお、こちら、修正しました計画につきましては、公表を今月の31日を予定して、令和5年度のスタートにしっかり間に合わせていくための準備を進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、国連の勧告及び先般3月13日に国が示しました通常学級の支援の在り方に関する検討会議の報告、こちらをしっかりと受け止めながら、今後、国の特別支援教育に関する方針や施策の方向性が大きく動いていくことも想定はしております。そこで、本計画の進捗等について、令和7年度には中間報告をする中で、大きな動きにも柔軟に対応していきたいと、このように考えております。

雑駁ではありますが、説明は以上となります。

○貞広会長 ありがとうございます。

では、ただいまのご説明につきましてご質問等がありましたらお知らせいただければと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、ここで一旦切り上げさせていただきます。追加でその他ご質問やご不明な点につきましては、事務局のほうにお問合せいただければと思います。

それでは、本日の議事は以上となります。

皆様のご協力によりまして、本日も円滑に議事を進行することができました。誠にありがとうございます。

この後は、事務局にお返しをいたします。

○半沢企画課長補佐 貞広会長、長時間にわたりまして円滑に議事進行していただきまして、ありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

本日は、現委員の皆様の任期内に予定されている最後の審議会でございます。つきましては、委員の皆様より一言ずつお言葉を頂戴できればと存じます。大変恐縮ではございますが、時間の都合上、お一人様1分程度でお願いいたします。

それでは、青木委員から、お配りした委員名簿の順にお言葉を頂戴し、最後に奥山副会長、貞広会長の順でお願いいたします。

それでは、青木委員、よろしく申し上げます。

○青木委員 青木でございます。

公募委員として4年間大変お世話になりました。素人考えの発言にも丁寧に対応していただき、感謝しかありません。千葉市の学校教育への理解が深まったことは大きな喜びでした。第3次学校教育推進計画はじめ各推進計画に携われたことを大変誇りに思っております。ありがとうございました。

○阿部委員 阿部です。任期期間中、ありがとうございました。

これから計画が進められていく段階になると思うのですが、計画ということで、ちゃんと計画どおり進めていくとか、ちゃんと成果を上げて確認し

ていくとか、そういうことが求められることになろうかと思えます。

ただ一方で、かなり重要でありつつ難しい問題についてみんなで考えていかなきゃいけないということになっていて、そういうときに計画を一本道で進めていくという思考はもちろん大事なのですが、それだけじゃなくて、計画どおりやってうまくいっているよねというラインと、計画にこだわり過ぎて、ちょっと計画ありきになっていないかというラインがあって、その間に幅があるのかなというふうに個人的には思っていて、何かその幅の中で、柔軟に即興的にみんなで考えていくということが重要なのかなというふうに感じています。

何かそういう柔軟さとか即興性みたいなことに寛容でありたいなと自分も思いますし、関わる方々にそういう寛容であってほしいなという願いもあります。その中で、個人的にも何かまた協力できることがあれば頑張りたいという思いでおります。どうもありがとうございました。

○江藤委員　　イオンの江藤でございます。任期中、どうもありがとうございました。

いろいろとちょっと乱暴かなというような発言もさせていただいて、何かふさわしい委員だったかどうか、大変クエスチョンが残るところではございますけれども、こういう委員をさせていただいて、実は市の活動というのはいろいろあるのだなと。先ほどの生涯教育のところでの、実はいろいろなことがあるのだと改めて実感するわけですが、市民という立場に戻ったときに、やっぱり接点がすごく少ないなと思うことも多々ありまして、実は先日、千葉市の千葉駅の向こうにある何かすてきな図書館で開かれたイベントに参加をしたら、大変年齢層が高かったことにちょっと驚きまして、お休みの日をこういうふうに学びの場で過ごされている方がたくさんいらっしゃるということにすごく驚いたのです。それはどちらかというとなんか女性活躍推進みたいなテーマだったのですが、なので、そういった今の時代に合った、ニーズに合ったものをもっともっと提供していくときに、いかに市民の目に触れるというようなことはもう少しされるとより参加しやすいというか、最初のステップが踏み出しやすくなるのかなというふうに感じましたので、これはもちろん私の感想ではありますが、そんな市民に寄り添うような行政みたいなものが実現されますことを祈っています。どうもありがとうございました。

○江波戸委員　　千葉市PTA連絡協議会から参加させていただきました江波戸と申します。

本当に一保護者の意見しかお話ができなかったのがちょっと申し訳ないなと思うのと、とにかくこういう場で、いろんな立場の方が、先生方も交えて、こういった形で教育についてお話し合いをされているということをごこの場に参加して初めて知ったということがありましたので、これは本当に大事な委員会であることに、本当にこの場に参加させていただけたことに本当に感謝

申し上げます。

これからも千葉市、子どもたちのために一生懸命いろんな知恵を振り絞って、こんなすばらしい資料も作っていただいて、こういうことにまた携わっていただけらなと思っております。ありがとうございました。

○神尾委員 神尾です。

教員時代に、教員って、教育って未来をつくる仕事だよって言われて、すごく誇りに思えたことがありました。

今回、この会議に参加して、その前にこの膨大な資料を読むのは結構すごいなと思ったのですが、逆に言うと、こうやってすごく一つ一つ作られているということで、会議の中で、ああ、目先のことじゃなくて、先を考えて教育って未来をつくっていらっしゃるのだなとつくづく思いました。磯野教育長さんはじめとして、各課の皆様、本当にありがとうございました。

ここからが実はスタートかなと思っております。さっき小田課長さんが周知と浸透とおっしゃいましたけれども、やっぱり忙しい現場の教員、教職員から見たら、ああ、こんなにやらなきゃいけないとか思われたらマイナスになるので、やっぱりさっき言った、教育って未来を見てつくっているのだよという根幹のビジョンのところをいかに管理職に浸透して、そこから一般に伝えていけるか、やりがいを持っていけるかというところと、それからこのリーフレットとアクションプランまでのA4の紙、これを見ると、何をやらなきゃいけないかって総花的になるのではなくて、今年度からどんなことをしたらいいのかというのと、それから行政の方が、教育委員会が何をサポートしてくださっているのか、よく見たらすごい書いてあるのです。困ったときにはここに行って、こんなサポートがあるよ、特別支援もこういうのがあるよとか、だから成果をいっばいつくって、ああ、そうか、そういうことかということこれから本当にPRして、やりがいを持って、誇りを持っていけるように教職員の方に思っていたいただければ、これが実になるな感じておりました。

本当にありがとうございました。これからも頑張ってください。

○黒川委員 黒川です。在任期間中、お世話になりました。

私は、教員養成に携わっている立場から、こうして計画が立案され施策になり形になった後、これが動き出していくと、その成果はどうなっていくのか、その評価はどのようにして見いだされていくのか、数字に追われていくようになるのかという点が気になります。

ただ、こうした計画というのは、そもそも何のためにあるのかといえば、子どもの笑顔をつくることと市民の豊かな感情を育んだりすること、そしてそこで子どもたちと学校で向き合う教員が誇りを持って笑顔で子どもと接する、保護者と接する、それを可能にするための具体的な仕掛けだというふうに思っています。

ただ、先ほども神尾委員からもあったように沢山のインプットが提案され

ると、現場の先生たちからすると、これからしなければならないことはどの程度増えていくのかという方にどうしても気持ちが向いてしまうと思います。その辺のところのバランスをとって、を現場の先生に向けては上手にメッセージを発していただきたいと思っています。

教員というのは、やはり夢のある仕事だと思っていますので、教員の成り手が不足しているという社会問題は大きな課題だと感じています。子どもの未来をみんなで作るという、そうした思いを一つにしていければと感じていました。

皆さんから色々なことを勉強させていただきました。ありがとうございます。

○小池委員 小池です。2年間、大変お世話になりました。

今の黒川委員のおっしゃったことと似たことを実はお話ししようと思っていたのですが、いろいろな教育の問題がある中で、私はやはり一番心配なのは、教職に就きたいという人が減ってきていることです。教育の現場がそんなに魅力のないものになってきているのかなと、決してそうじゃないと思うのですが、すごく心配しています。

この審議会の中で出てきたいろいろな議題については、個人として教育現場を元気にすることに、少しでも役立つことができればという思いで参加させていただきましたけれども、審議の中で、実は参加していらっしゃる審議委員の皆さん方が、また同じような思いで教育現場を元気にしようという立場で発言していただいていることを知って、大変うれしく、また心強く思いました。

本当に2年間お世話になりました。ありがとうございます。

○笹口委員 育成委員会からまいりました笹口と申します。

私も学校の先生の職場環境みたいなことに非常に興味があったのですが、ちょうど1週間前に第一生命が発表した、大人になったらなりたいものという調査をネットで見ました。1位から10位の結果の中で教師や教員になりたい順位が中学生の男の子だと7位だったんです。中学生の女の子は4位、そして高校生は男女とも4位でした。この結果を見て、まだなかなか捨てたもんじゃないなというふうに思ったのですが、願わくば子どもたちがなりたいという気持ちが、実際に学校の先生になってがっかりしたとか、思ったのとは違うぞとかいうふうにならないような学校現場であってほしいなと。学校の先生が幸せに働ければ、きっと子どもにもそれが伝わって、すばらしい学校になっていくんじゃないかなというふうに思ったものですから、そのように考えました。よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○篠田委員 ZOZOの篠田です。2年間、本当にありがとうございます。

私自身は、会社の中でキャリア教育だとか社会貢献の部門におりまして、本当にこういった機会をいただけて、すごく勉強になりましたし、企業とし

て社会にどういった貢献ができるのかなということをしごく考えさせられた2年間でした。

その中で、いろいろと連携させていただいて、教職員の方への研修をやらせていただいたり、出前授業などにもたくさん行かせていただきました。あとはSEEDLINGS of CHIBAのアントレプレナーシップ教育コンソーシアムにも参加させていただいています。今回のこのすばらしい計画がすごくいいとは思いますが、やはり変化していくんだと思うんです。

なので、ぜひその計画の外で色々な変化がある、新しく生まれていく団体などとの連携というのはぜひ積極的にしていただけると、本当に皆さんもおっしゃっているように時代に合った色々な活動というのが生まれるんじゃないかなと思っています。SEEDLINGS of CHIBAのほうでは、稲毛国際中等教育学校さんと8コマの授業をやらせていただいて、探究学習において、自主性、自分で考えて自分で決めて行動して社会を動かすというテーマで授業をやらせていただきました。本当にすばらしく、生徒さんたちが主体性を持って、私たちもファッションの会社なので、学校で着る服装というテーマで実施させていただきました。制服を変えるということが目的なのではなくて、日々の身近にあるものに対しての違和感だったり、考えて取り組むというところをテーマにやらせていただいた中で、学生さんの思いや本当にすばらしい提案が生まれた機会となりました。

他にも、中堅の11年目の教員の方々の研修をやらせていただいたことがきっかけで、小中台小学校の先生がぜひ学校内で研修を独自にしてくれないかという提案をいただき実施しました。校長先生を含めて四十人～五十人ぐらいの教員の方々に対して、一緒にこれからの学校や働き方について考えるというテーマでワークショップをさせていただきました。そのときに多く出た意見として、できないと諦めていたことが、もしかしたら変えられるかもしれないというマインドに変わったとおっしゃっていただけなんです。

なので、皆さんがおっしゃるように、これから教員を目指す方だとか、今、教員の方々に働き方で苦労されている方々にとって、難しいとは思いますが、けれども、気持ちの部分で外からの風や何かヒントなのか、私たちが力になれる部分があるかもしれないとしごく強く思ったきっかけがあったので、研修が全てではないとは思いますが、いろいろな取組をやっている私達も含めた民間などの外からの風を、よりポジティブに、皆さんがハッピーでいられるような環境ができたかなと思っています。これからは私達企業として、ぜひ違った角度から尽力できればかなと思っている次第でございます。

本当に2年間ありがとうございました。

○原田委員 原田です。

令和3年の6月から参加いたしました。任期中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

毎回のこういった資料を隅から隅まで読むということをしたのですが、読みながら理解するのが本当に大変だったなということをして今、振り返ると強くその印象が残っております。一方で、また改めてなるほどなと思うことも多く書かれていて、大変勉強になりました。

委員の皆様がそれぞれ意見をされたことも答申書案に分かりやすく書かれて、思いを酌んでまとめ上げていただいたということで、事務局の皆様にも改めてここで感謝を申し上げたいと思っております。

これだけ厚みのある資料を取りまとめていただきましたので、本当に作成だけで終わらずに、教職員、それから保護者の皆様、市民一人一人の方に、多くの方の目に触れていくことを今後願っております。

そして、特に計画となりますと、どうしてもそれのおりに行かなければいけないという、そういうところが往々にして生じるかと思えますけれども、特にこれからの子どもたちの教育を考えていくときに、時代の流れが早い中では様々な取組をしていかなければならないということがあるかと思えます。ぜひその見直しの中で勇気を持って変革していく、あるいは転換していくときには、千葉市ならではの思い切った取組をしていただけたらということをお願いしております。

最後になりますけれども、1年間大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

- 保坂委員　最後の一言にはふさわしくないのを承知で発言させていただくのですが、今回、この資料が十分読み込めなかったという思いがあって、30分ぐらい前に来て読もうと思ったのですが、もう既に神尾委員が座って資料を読んでおられて、同じような人がいると僕は思ったのですが、すぐその後原田委員がきておしゃべりになってしまったので、やっぱり読みませんでしたという、何を言いたいかという、これまでの資料は一生懸命読んだつもりですけども、この形で今後に行くのですかということをやっと投げかけたいと思えます。

事前に資料を送られて全部読むのはやっぱり予習。一斉授業を受けて、終わると逐語録を確認するのが復習という、昔の学校のスタイルが会議に持ち込まれているような気がしてしまったのですが、学校の授業があれだけ変わっている現在、審議会というのはこの形でいいのでしょうか。

この会議は比較的若い会議で、6年ぐらい前、2年を3回終えたところだと思っておりますが、4年後に10年目を迎えるその先で結構ですので、審議会の在り方を、この会に限らずですが、変えていくという発想をぜひ持っていたかかないと、なかなか厳しいのではないかなと。

思いつきでお話しすれば、15人もいるので、3人ずつ5班に分けて1本の資料を綿密に読み込んで事務局と2時間議論するみたいな形もあってもいいのではないかなというふうに思っています。これは勝手な意見ですけども、どういう形がいいのかも分かっているわけではないのですが、この形が

5年、10年続く、とても持続可能な形とは思えないなというふうに、自分が読めなかったことを理由に言っているのは何ですが、ちょっと無理があるのではないかなというふうに思った次第です。

事務局のご苦勞は十分分かっていっているつもりなので、いろいろとご苦勞さまでした。それからありがとうございます。

○奥山副会長 敬愛学園高校の奥山です。

副会長としては貞広会長を十分お支えできなかったという反省点はございますが、一委員としては今回、今後10年にわたる千葉市の子どもたちの教育の根幹となる計画に携わることができ、大変光榮に、またうれしく思っています。

また、それぞれ異なるバックグラウンドをお持ちの各委員の皆様の貴重なご意見を拝聴できたことも、私自身の学校経営に活かしてまいりたいと考えています。

結びになりますが、事務局の皆様には各委員の意見のとりまとめなど、大変お世話になりました。ありがとうございます。

○貞広会長 改めまして、貞広です。

委員の皆様方、事務局の皆様方、任期中大変お世話になりましたありがとうございます。

もとより力不足なのですが、今日も含めてちょっと余計なことをちょいちょい言いたくなりまして、円滑な進行を会長が一番妨げてしまったことをおわび申し上げたいと思います。

先ほど、保坂委員より、この審議会のありようってどうなんだという問題提起がありました。もう少し模索する可能性はあるかと思うのですが、私が出ている他の会議がいけないのか、相対的には、比較的対話が成立している審議会だったようにも思います。

教育長が冒頭で「対話と挑戦」というのを今後の一つの目指すところということで掲げていらっしゃいましたけれども、委員同士の対話も、委員と事務局の方の対話も、またその委員の意見を拾っていただくという意味でも、対話が比較的曲がりなりにも成立し、かつ、今後挑戦していただく道筋みたいなものが計画というような形で作り上げられた会だったと思います。

私からは本当に感謝の気持ちしかないのですが、何人かの方がおっしゃっていたように、計画に拘泥しないでいただくというのはすごく大事なところだと思います。無謬性を排除してPDCAサイクルをつくり込まないということですね。特に教育施策とか教育は、子どもたちの日々の活動を見ていれば分かる通り、偶然性と偶発性にあふれている諸活動ですよ。

ですから、先ほど令和7年度に中間評価をするということだったと思うのですが、もっと日々恐らく変わっていて、思いもよらないようなことも起こりますので、もううまくいかなかったら撤退という、そういうことも含めて、あまり計画の作り込みに拘泥しないでいただきたいということを申し上げ

たいと思います。

最後に、改めまして本当にこちらにいらっしゃる皆様方にお世話になりましたこと、心よりお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

○半沢企画課長補佐 委員の皆様、ありがとうございました。

それでは、教育委員会を代表いたしまして、教育長の磯野よりお礼の挨拶を申し上げます。

○磯野教育長 改めまして、本年度の任期の期間の審議会が最後でありました。本当にどうもありがとうございました。

委員の皆様方がありまして、皆様のこれまでのそれぞれの専門性に富んだ知見とご意見をいただいたことによって、本市教育がさらに発展できたというふうに自負しております。

今、貞広会長からもありましたけれども、私もこの会是对話がある程度成立して、教育委員会としても色々な面で意見を吸収しながら取り組んでまいりました。この2年間では今回の答申等もありましたけれども、やはりこの審議会がそもそも始まった経緯から考えれば、エアコン設置から始まって、大議論になって、あのとき入れておいてよかったという思いが、令和2年に普通教室に入り、その後3年には特別教室にも設置されました。

子どもたちの環境も変わり、その間にギガタブが入って、ICTもあり、そしていじめ、不登校の問題もあり、この間にやはり社会にご迷惑をかけた性暴力に関する問題も特化された中で、ご心配をおかけしご意見いただきました。

その中でも、中等教育学校が4月から開校して無事に進んでいますし、今日いただいた推進計画のそれぞれの実施計画に沿ってやっていくわけですが、今ご意見あったように、柔軟に対応していきたいという思いはあります。

ただ、この後、やはりこれは確かに計画だけなので、これからが大変なのですが、これ以外に次の課題としては、先ほど出ました部活動の地域移行については、この4月から専門の担当課長を設けて始めることに決めております。

そして、もう一方の、先ほどから出ています教員の成り手が不足している点については、一番の原因が、やはり子どもが好き、授業が好き、保護者対応の難しさがあること、また、大学生に聞いてみると、教育実習に行くとやる気がなくなると。まだ昔ながらの教育実習がされているのだなということをつくづく感じたので、この辺を変えていかなきゃいけないということもあって、千葉県としては5年後をめどに教員採用選考の在り方について検討に入っている状況であります。

これは、昭和53年から関東一円で同一日に試験が開始されて、これからは3年生の大学生が受けられるということがあって、県独自でやられてしまうとお金があると勝ってしまいますので、やはり教員はそうじゃなく

て、子どもが好きで、働く喜びとかやりがいを持って働いてほしいという思いがありますので、これにつけて採用試験についての検討を進めていきたいということで、所管にはもう指示しておりますので、進めていきたいというふうに考えています。

そして、一番の課題はエアコン、教室について特別教室につきましたから、あとは体育館だけなのです。

この3つが、今後、この審議会で色々な面で意見が上がってくる会になると思います。これをまず、改めて貞広会長、奥山副会長をはじめ委員の皆さんに色々な面で教育に対する、私はよき理解者で応援者だと思ってこの会に参加していただき、貴重な意見をいただいたことを改めて感謝申し上げます。本当に2年間どうもありがとうございました。

○半沢企画課長補佐　最後に、事務局より3点連絡事項がございます。

1点目に、駐車場をご利用の方で、まだ駐車券の処理がお済みでない方がいらっしゃいましたら、事務局にお申出ください。

2点目に、お手元のファイルや資料につきましてはお持ち帰りいただいても構いません。資料等がご不要の場合は、そのまま机上に置いていただければと存じます。

3点目に、新庁舎は、来庁者が午後7時以降に退館する場合、職員の同行が必要となっております。企画課職員が出口まで誘導いたしますので、大変恐縮ではございますが、皆様と一緒に退館していただきたく、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

連絡事項は以上でございます。

以上をもちまして、令和4年度第3回千葉市学校教育審議会を閉会いたします。

本日は長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。